

TE-W1100/1600シリーズ 取付マニュアル

TE-W1100/1600シリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

危険

マニュアル車へ取り付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキを掛けずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。



●マニュアル車には、取り付けできません。



●12V車専用です。トラックなどの24V車には、お取り付けできません。



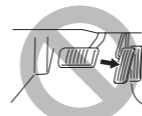
●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。



●キーフリーシステム・スマートキーシステム・純正セキュリティアラーム装着車には、取り付けできません（適合車種除く）。

●平成元年以前の車でシフトロックが装着されていない車（フットブレーキを踏まずにセレクトレバーが「P」から移動できる車）には、取り付けできません。

●エンジン始動時に下記のような場合には、お取り付けできません。



アクセル操作が必要な車

●雨滴感応ワイパー装着車には、お取り付けできません。取り付けすると車両故障の原因となります。



チョークレバーを引く車



年間通じて、キーを回して2秒程度でエンジンのかからない車

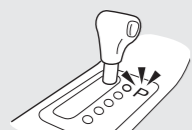
⚠️注意 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

⚠️注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ファンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

📖参考 本製品を他の車両に取り付け直すときは、本体に記憶されているP/N検出データを消去する必要があります。その場合は設定スイッチNo.2を一旦「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してください。

配線のしかた

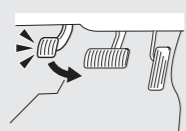
1 車両が次の状態になっていることを確認します。



セレクトレバーがパーキング（Pレンジ）に入っている

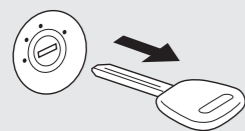


（サイド式）



（フット式）

パーキングブレーキがかけられている



キーが抜かれている

2 リモコン裏面の絶縁シートを取り外します。

📌メモ 絶縁シートが付いたままだと、リモコンは動作しません。

3 アンダーダッシュを外して、本体の取り付け位置を仮決めします。

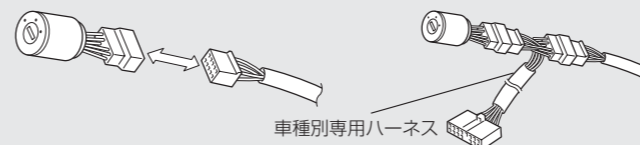
本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。運転を妨げないか注意して、おおよかな取り付け位置を決めます。

📖参考 まだ固定しないでください。

📌メモ 場所決めのポイント

- ・しっかり固定できますか？
- ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか？
- ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分（ボディやコード類など）から5cm以上、離れていますか？

4 車両のキーシリンダーのコネクターを抜き、車種別専用ハーネス（別売）をしっかり接続します。



⚠️注意 必ず正しいキーコネクターに接続してください。誤った場所に取り付けると、車両故障の原因になります。

📌メモ キーコネクターとは、「キーシリンダー裏から出ているコネクター」または「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクター」です。

📌メモ 本体を接続していないと、キーでエンジンをかけられません。

5 アースコード（黒）を、車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。

⚠️注意 アースが不完全のときは動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けてください。

⚠️注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

6 純正イモビライザー装着車の場合は、イモビ付車対応アダプター（別売）を取り付けます。

📌メモ 純正セキュリティ対応アダプターや、キー検出制御アダプターが必要な車種の場合も、それぞれアダプターを取り付けてください。

📌メモ イモビ付車対応アダプター（別売）の取扱説明書も参照してください。

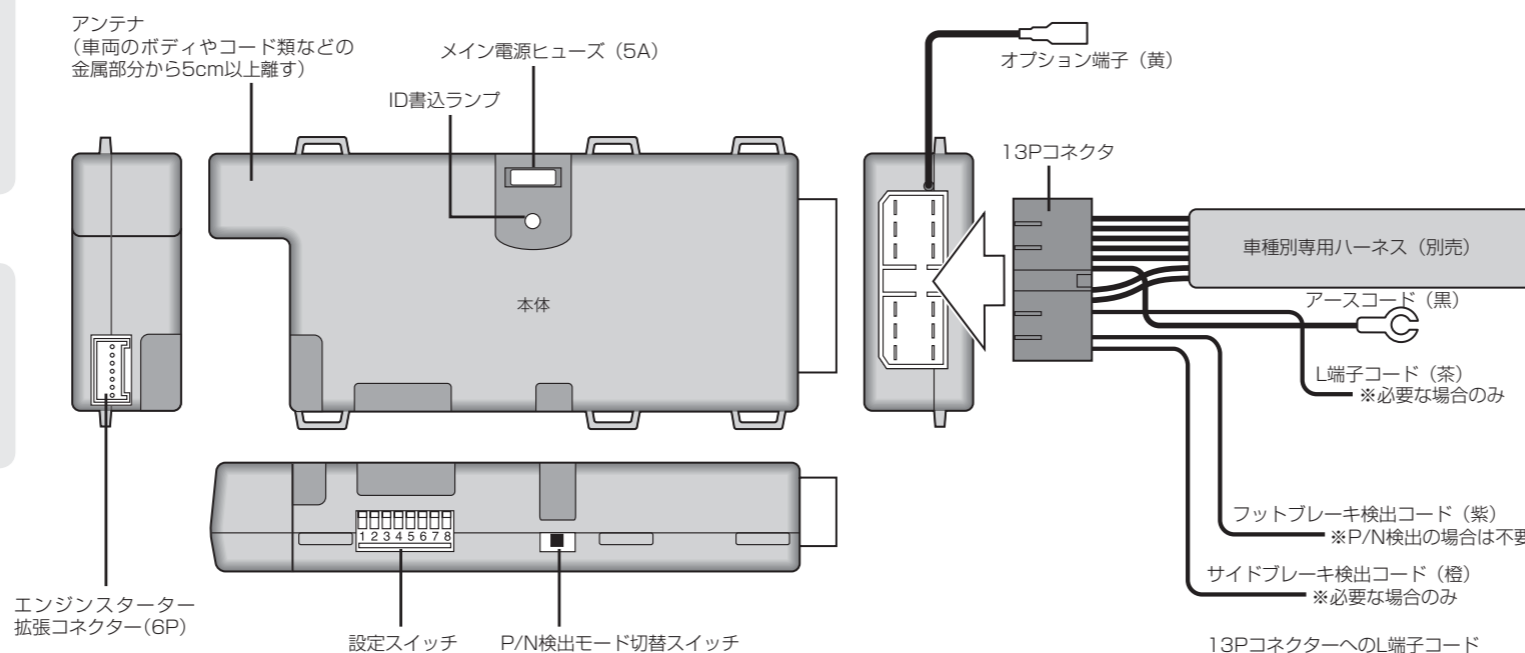
📌メモ アダプタの種類に応じて、次のように本体の設定スイッチを切り替えてください。

	スイッチNo.7（OP端子出力）
TE412/416/421/423~429	OFF（A）
TE413/417（※）/420/422	ON（B）

※TE417とイモビ付車対応アダプターを併用する場合は、ON（B）に設定してください。

7 13Pコネクターを本体にしっかり差し込みます。

📌メモ ハーネスが本体に届かないときは、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してください。



13PコネクターへのL端子コードおよびサイドブレーキ検出コードの取付方法は裏面「ハーネスの各種コード差し込み位置」をご覧ください。

ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。

動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。

1 P/N検出が可能か確認します。

参考 本製品を他の車に取り付け直すときは、P/N検出データを消去する必要があります。その場合は「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してから、設定し直してください。

- 1) 車に乗ります。
- 2) セレクトレバーを「P」にしてキーを抜きます。
- 3) 本製品のリモコンでエンジンをかけます。

エンジンが掛かる場合

P/N検出データが設定済みか、フットブレーキ検出に設定済みです。このまま使用してください。

本体から音が出る場合

「ピー・ピー・ピー・ピー、ピー・ピー・ピー・ピー」と鳴ったときは、手順4に進んでください。
他の音が鳴ったときは、取扱説明書の「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

- 4) 20秒以内にキーを「オン」（メーターパネルが点灯する位置）にします。
20秒以内に操作できなかったときは、手順2からやり直してください。

操作後、しばらくしてから本体が「ピ・ピ・ピ・ピー、ピ・ピ・ピ・ピー」と鳴ったとき

車種別専用ハーネスの品番および、車種別専用ハーネス取り付け状態を確認してください。

操作してすぐに本体が「ピー」と鳴ったとき

手順5へ進んでください。

- 5) 20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「R」または「D」にします。
20秒以内に操作できなかったときは、手順2からやり直してください。

本体が「ピ・ピ・ピ・ピー、ピ・ピ・ピ・ピー」と鳴ったとき

取扱説明書の「P/N検出時のST1/ST2切り替え」を参照して、ST1とST2を切り替えてください。その後、もう一度手順2からやり直してください。

ST1とST2のどちらでも設定できない場合は、車両がP/N検出に対応していません。フットブレーキ検出コード（紫）を、「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」で「離れたときに0V」になるコード(*)に、付属のワンタッチコネクタで取り付け、本体の設定スイッチ2を上側（オフ）にしてください。

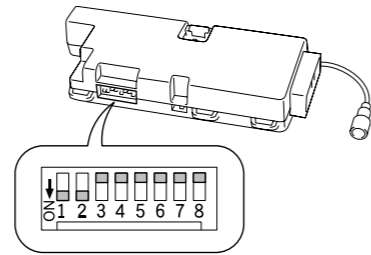
*通常はブレーキペダルの根元にあります。

本体が「ピー」と鳴ったとき

手順6へ進んでください。

- 6) セレクトレバーを「P」に戻してキーを抜きます。
これでP/N検出データの設定は完了です。

2 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



設定スイッチ

スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出しない
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	IG2制御	通常	特殊
4	L端子配線	なし	あり
5	未使用	-	-
6	グロータイム	8秒	5秒
7	OP端子出力	A	B
8	ID書込	通常	書込

■は工場出荷時設定です。

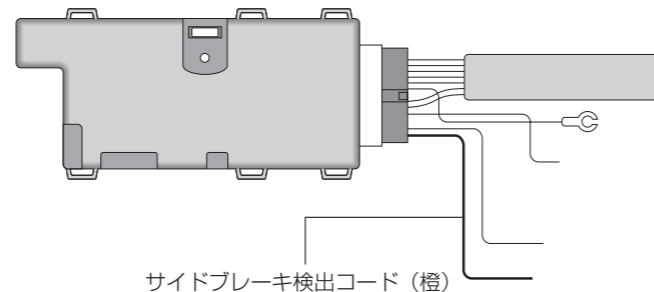
メモ 詳しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

3 動作を確認します。

- 1) 車両のセレクトレバーを「P」にします。
- 2) キーを抜き、パーキング（サイド）ブレーキをかけます。
- 3) リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。
エンジンがかからないときは、取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しないとき」を参照して対処してください。

4 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード（橙）を車両の次のコードに取り付けます。

- ・パーキング（サイド）ブレーキをかけたときに0V
- ・パーキング（サイド）ブレーキを解除したときに12V



メモ 寒冷地などでパーキング（サイド）ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

5 設定スイッチNo.1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

メモ 寒冷地などでパーキング（サイド）ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

6 本体を付属の結束バンド（大）でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド（小）で運転の妨げにならないように束ねます。

7 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

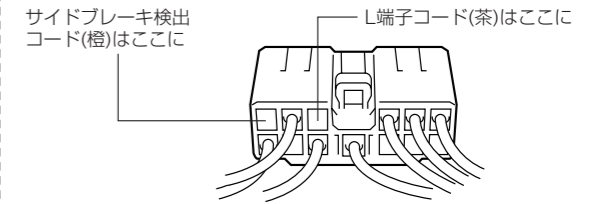
参考

車種別ビットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。ビットマニュアルの参照方法は、店頭の手種別ハーネス適合表か、当社ホームページ(<http://www.carmate.co.jp>)をご覧ください。
ただし、ビットマニュアルが用意されていない車種もございます。また、ビットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ワンタッチコネクタの使いかた

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) プライヤーなどで金具を押し込む
- 4) カバーをして絶縁テープを巻く

ハーネスの各種コード差し込み位置



コードの差し込みかたは次のとおりです。

- 1) 千枚通しなど先のとがったものを使ってロックピンを外します。
- 2) カシメ部を下にして指定の位置にコードを差し込みます。
- 3) ロックピンを元に戻します。

取り付けに関するお問い合わせ先

カーメイトサービスセンター
Tel:(03)5926-1216(代表)
Fax:(03)5926-1218